

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	1	確かな学力・学習意欲の向上を図る
目標（評価規準）		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人ひとりが主体的に活動し、自己肯定感もてる授業の実践</li> <li>○「基礎基本の定着」の実感できる授業づくりの推進</li> <li>○家庭学習の定着、全教職員共通理解の元、具体的取り組みをすすめる</li> <li>○教員一人ひとりが工夫した授業実践を行い、授業力の向上をめざす</li> </ul>
重点に係る現状 設定理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業力・教師力を向上させ、生徒にとっての「わかる楽しい授業」が主体的な授業参加・学習意欲の向上につながる。</li> <li>○家庭学習の取り組みを全教員の共通理解の元、具体的な取り組みを行う。</li> </ul>

評価資料	評 価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒が主体的に学ぶための授業づくりの工夫改善をしているという設問には100%が肯定的回答をしている。</li> <li>② 基礎基本の定着が出来る授業・学習指導が行われているという設問には100%が肯定的回答をしている。</li> <li>③ TTやICTの活用を用いて一人ひとりの生徒に丁寧に指導しているという設問には100%が肯定的回答をしている。</li> <li>④ 生徒に家庭学習の大切さを教え取り組むための指導工夫をしているという設問には54%が肯定的回答だった。</li> </ul>
各アンケート等の結果	<p>上記設問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①の設問について、生徒の91%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は63%であった。</li> <li>②の設問について、生徒の93%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は63%であった。</li> <li>③の設問について、生徒の90%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は55%であった。</li> <li>④の設問について、生徒の88%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は54%であった。</li> </ul>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各設問について、教職員と生徒については、肯定的回答が高かった。が、保護者の肯定的回答が前年より低くなった。</li> <li>○設問①については、前年に比べ保護者の肯定的回答が71%→63%と低くなった。</li> </ul> <p>*各設問で教職員・生徒の回答と保護者の回答に大きな隔たりがあった。各設問に対して「わからない」という回答が10～30%程度あったこともふまえ、情報発信の方法や学校状況の丁寧な伝達が必要である。</p> <p>*家庭学習については例年同様、肯定的回答は低かった。タブレットを利用した家庭学習を推進したが、情報提供を更に丁寧に進めていく必要がある。</p>
学校関係者評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生方と生徒の意見と保護者の見解に差があるのは、情報として伝わっていないのか、家庭で学校のことが話題にならないのか？必要な情報は確実に伝え学校に来なくても状況がわかるような方法をとるべき。</li> </ul>
最終改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT機器の有効活用を更に進め、生徒が主体的に学習できる環境づくりをすすめる。</li> <li>○ 保護者へ生徒の学習状況が確実に伝わる工夫を更にすすめる。</li> <li>○ 引き続き、家庭学習の定着のために具体的な取り組みを行っていく。</li> </ul>

本年度の重点	2	「生きる力」「豊かな心」を育成する指導の充実
目標（評価規準）	○生徒の生きる力、豊かな心を育て、その成果として主体的な姿勢をもたせる。 ○生徒一人ひとりに居場所があり、仲間と協力して生活することができる。 ○問題の未然防止、早期発見、早期解決を図り、生徒一人ひとりが大切にされていることが実感できる学校づくりをすすめる。	
重点に係る現状 設定理由	○日常生活だけでなく、行事や部活動でも充実した取り組みができるよう学校環境を整えていく。 ○いじめ防止委員会・適応サポート委員会などを機能させ、充実した活動に取り組む。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	① 「総合的な学習の時間」「道徳」などの教育活動を通して「思いやりの心」「他人を尊重する心」が育っているという設問には84%が肯定的回答をしている。 ② 挨拶や礼儀など基本的な生活習慣が身につく指導をしているという設問には92%が肯定的回答をしている。 ③ 生徒を理解し生徒との信頼関係を築けているという設問には、93%が肯定的回答をしている。 ④ 問題行動やいじめ、欠席の多い生徒への対応など、早期発見・早期対応解決につとめているという設問には85%が肯定的回答をしている。
各アンケート等の結果	上記設問 ①の設問について、生徒の92%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は76%であった。 ②の設問について、生徒の95%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は74%であった。 ③の設問について、生徒の82%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は75%であった。 ④の設問について、生徒の84%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は49%にとどまった。
自己評価結果 (見解と改善方策)	○今年度は、道徳授業や生徒会の取り組みにおいて積極的な取り組みを行った。が、教職員の肯定的回答が昨年より低かった。 ○「思いやりの心」「他人を尊重する心」については、生徒・保護者とも肯定的回答が例年同様高かった。  * 生徒との関係づくりは、日常的に必要なものである。働き方を考えながら生徒と接する時間の確保も必要である。 * 挨拶や礼儀などは、「人として」必要なことであり、基本的なこととして指導を確実に行っていく。 * 学校での取り組みが、何らかの形で地域・保護者に伝わるように情報提供をしていく。
学校関係者評価結果	○先生たちと生徒との関係は良好だと感じる。一方で、生徒同士の関係はSNSなどにより心配な面もある。家庭との密な関係が必要かもしれない。 ○学習も大切だが、「人として」大切なことはしっかりと指導していくべきだと思う。
最終改善方策	○引き続き、一人ひとりにとって安心できる学校環境をつくっていく。そのために、 「人間力」「生きる力」を養える指導を日常的に行っていく。 ○ いじめの早期発見、対応、解決を心がけ、日常的に生徒との関係づくりを進める。

本年度の重点	3	家庭・地域との連携の推進と発展
目標（評価規準）	<p>○PTA・学校評議員会・青少年育成団体などを通して家庭・地域との連携を更にすすめる。</p> <p>○教育活動の現状などを理解してもらうため市民センターに学校だよりの掲示を継続し情報発信に努める。</p> <p>○小学校とも連携し、相互に授業の参観、授業研究会などに参加し一小一中の良さを生かした連携を強化し、すすめる。</p>	
重点に係る現状 設定理由	<p>○地域に開かれた学校づくり推進のため参観授業などを実施する。また、地域行事にも教員・生徒を積極的に派遣していく。</p> <p>○学校だよりの情報発信を充実させ、学校の現状や取り組みを理解してもらう。</p> <p>○小学校との連携を更に充実させ、小中9年間で生徒を育成していく。</p>	

評価資料	評 価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<p>①保護者会・PTA活動・体育祭などを設け積極的に学校公開に取り組んでいるという設問については、94%が肯定的回答をしている。</p> <p>②登下校時の挨拶や地域行事を通して地域への感謝の気持ちを持たせるといった設問については、69%が肯定的回答であった。</p> <p>③学校からのお知らせ・配布物から学校の様子が伝わっているという設問については、69%が肯定的回答であった。</p>
各アンケート等の結果	<p>①ボランティア活動や地域行事へ参加し、社会の一員として自覚をもっているという生徒設問については、54%の肯定的回答にとどまった。</p> <p>①保護者の、学校は積極的に学校公開に取り組んでいるという設問には、86%が肯定的回答であった。</p> <p>②登下校時や保護者・地域の方や来校者への挨拶についての設問には、生徒の81%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は60%であった。</p> <p>③学校からのお知らせ配布物から学校の様子が伝わるという設問では、生徒の79%が肯定的回答を</p>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>○学校公開などの取り組みについては、コロナによる制限が緩和され積極的に行ってきた。肯定的回答も高かった。</p> <p>○お知らせ、配布物により学校の様子が伝わってくるという設問については、肯定的回答が若干低くなったが、ほぼ例年通りであった。</p> <p>○生徒のボランティア活動、地域行事への参加は、様々な関係行事そのものが開催されないことも多かった。</p> <p>*「地域の学校」として、本校の教育活動への理解と協力を更にいただくため、小学校との連携も含め、工夫した取り組みを進めていく。</p>
学校関係者評価結果	<p>○積極的に保護者・地域と関わりをもつ取り組みが進められていると思う。一部にとどまらないで、広く進めた方がいい。</p> <p>○コロナの関係で地域の行事も実施されなかったこともある。地域の学校として頑張りたい。</p>
最終改善方策	<p>○次年度からPTA活動をボランティア化していく。より多くの保護者の方に学校教育に関わっていただくための活動を進めていく。</p> <p>○小学校、地域とも更に連携を強化し、地域の学校として開かれた学校づくりを進めていく。</p>